

公園緑地の維持管理



グリーンピー

平成22年4月
川崎市

目 次

I 維持管理の基本的な内容

1. 除草・清掃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 樹木の剪定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 剪定の基本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
4. 刈り込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5. 施 肥・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
6. 病虫害防除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
7. 灌 水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
8. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

II 花壇づくり

1. 場所を見つけよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
2. 仲間を集めよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
3. プランをつくろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
4. 汗を流そう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18



グリーンピー

かわさきしみどりのシンボルキャラクター。
空のかなたから楽しい夢を運んできた緑の妖精グリーンピー。

I 維持管理の基本的な内容

1. 除草・清掃

(1) 除草・清掃の必要性

雑草が繁茂することによって、①土壌の水分や栄養分が雑草に吸収される、②日照が遮られる、③樹木や草花と生育が競合する、④植栽地の風通しが悪くなる、⑤病害虫が発生する、⑥景観が阻害される等の原因を引き起こしますので、除草・清掃はとても大切な作業です。

(2) 除草の方法

除草する方法には、①**抜根除草**、②**草刈**等による方法があります。また、雑草の繁茂を防ぐ方法としては**マルチング**がとても効果的です。

なお、除草剤散布は、他の生物の生息環境に影響を与えますので使用はお控えください。

抜根除草と草刈

抜根除草とは文字通り根っこまで草を取り除くことを言います。雑草を排除したいときに行います。草刈は鎌などで地上部のみを刈り取ることを言います。斜面地などで土砂の流失防止を図る場合は抜根除草ではなく草刈を行います。

マルチング

土壌の表面を樹皮のチップなどで覆うことを言います。雑草の抑制や乾燥の防止等に効果があります。

(3) 除草の時期

抜根除草及び草刈を行う時期は、雑草の出穂時、遅くとも結実期前に行うことが重要であり、雑草の発生サイクルを考慮すると、**3月頃、6月頃と8月下旬～9月上旬の3回実施**すると、翌年の発生をかなり抑えることができます。

■ 雑草の生活サイクルと除草の時期

草種 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ヨモギ		
セイカアワダチソウ		
ヒメカシヨモギ
ヒメジョオン
ハルジョオン
チガヤ		
ヨシ		
ススキ		

..... 葉や芽の成長 開花・結実

2. 樹木の剪定

(1) 剪定の目的

樹木は、基本的には自然な成長による樹種本来の美しい形としておくことが望まれますが、都市における樹木の剪定は、美観、機能維持や樹木の健全な成長のために欠かすことのできない作業です。

(2) 剪定の方法

剪定は植栽の目的、樹種、生育状況などに応じ、適切な方法で行います。剪定方法は大きく分けて、**整枝**（基本整枝、養生整枝、夏期整枝）、**剪定**（整姿剪定、中・低木剪定）、**刈り込み**（寄植刈り込み、玉物刈り込み）に分類することができます。

(3) 剪定の時期

高木の剪定にあたっては、冬期には主枝を対象とした剪定を行い、夏季には軽度の整枝剪定を行います。

また、低木の刈り込みにあたっては、新芽の伸長が一旦停止する**5月・6月頃**及び土用芽の伸長が停止する**9月・10月頃**に行います。

花木は、花芽を形成する前に剪定を終了する必要がありますので、一般的には、落花直後に剪定を行うことによって、枯花も撤去でき、より効果的です。

■ 樹木の育成サイクル

(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
休眠期												
根が活動を始める時期	●	●									●	●
萌芽期及び花芽分化期												



土用芽

夏の土用の頃に出る新芽のこと。

花芽分化期

花の芽が形成される時期のこと。このあとに刈り込みや剪定を行うと、翌年、花の着きが悪くなる可能性があります。

■ (参考) 花木の開花期と花芽の分化期

着花習性	名称	花芽分化期(月)	花の開花期(月)
当年枝に花芽分化し、翌春に開花するもの	アジサイ	10(上)～(中)	5(中)～7
	アセビ	7(中)	3(下)～4
	ウメ	7(上)～8(中)	1(下)～3(中)
	エゴノキ	7～8	5(下)～6
	クちなし	7、9	6～7
	コデマリ	10(上)	4(中)～5(中)
	コブシ	7	3
	サツキ	6(下)～8(中)	5(中)～6
	シャリンバイ	7～8	4(中)～5(中)
	ドウダンツツジ	7	4(中)～5(中)
	ハクモクレン	5(中)	3～4(上)
	ハナミズキ	7(下)～8(上)	4(中)～5(上)
	ヒイラギナンテン	8	3(中)～4(中)
	ヒメシャラ	8	6(中)～7(中)
	ヤブツバキ	6(上)～9(上)	1(中)～4
	ユキヤナギ	9(下)～10(上)	3(中)～4(中)
	ユリノキ	9(下)～10(上)	6～7
	レンギョウ	8	2(中)～4(中)
当年枝に花芽分化し、当年の夏から秋に開花するもの	キョウチクトウ	ほぼ1年中	5(下)～10
	キンモクセイ	7～8	9～10(上)
	サザンカ	6(中)～6(下)	11(上)～1(中)
	サルスベリ	4(下)	8(上)～9(下)
	ハギ	7～8(下)	8～10(中)
	ムクゲ	7(下)～8(下)	4(下)～5(下)

3. 剪定の基本

(1) 除去することが望ましい枝

樹木の樹形や機能維持、健全な成長などのために、図1に示す枝を根元から除去します。

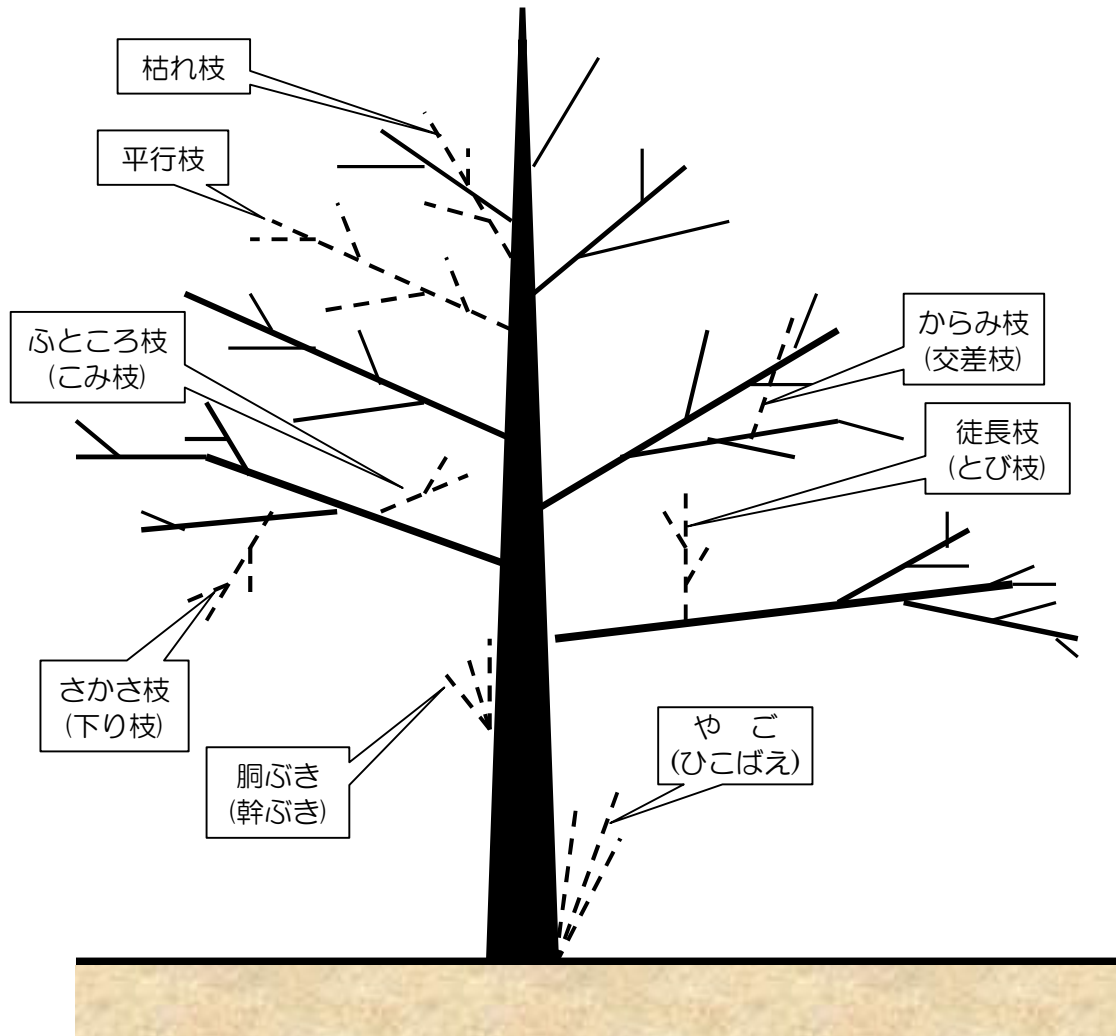


図1 基本剪定名称図

(出典：中島 宏『改訂 植栽の設計・施工・管理』(財)経済調査会、1997年)

やご(ひこばえ)は、根元または地中にある根元に近い根から発生する小枝。
幹ぶき(胴ぶき)は、幹や太い枝の中途から出てくる枝。
からみ枝は、1本の枝が他の主枝にからみついたような形になるもの。
徒長枝(とび枝)は、木の幹や枝から上に向かって長く伸び出した立ち枝。
さかさ枝は、樹種固有の性質にさかかって逆の方向に伸びる枝。
ふところ枝は、木の中のほうに出て、お互いに邪魔し合っている込み枝。

(2) 剪定の方法

剪定の方法としては、次のようなもの(図2)があります。

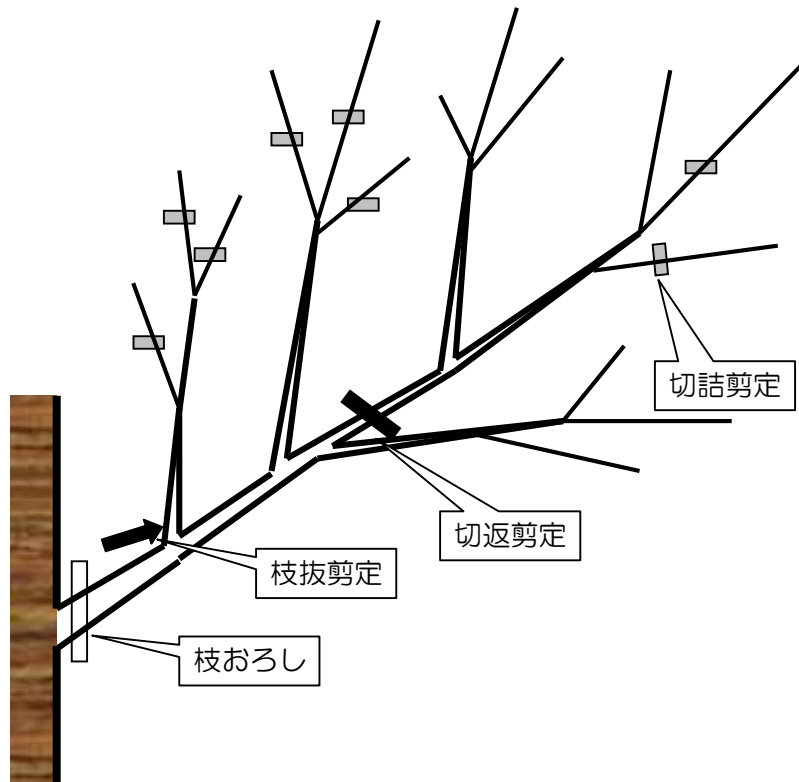


図2 剪定の技法

(出典：『道路緑化技術基準・同解説』(社)日本道路協会、1988年)

ア 枝おろし

太い枝を付け根から切り取ることをいいます。樹形を考慮しながら、図3のように剪定を行ってください。

イ 枝抜剪定

混み過ぎた部分の枝を透かすように剪定することをいいます。

ウ 切返剪定

樹冠外に飛び出した枝の切り取り及び樹勢を回復するため樹冠を小さくする場合に行います。

エ 切詰剪定

主として新生枝を、樹冠の大きさが整う長さに剪定することをいいます。

樹冠とは、枝によって形づくられる外郭線の部分のこと。

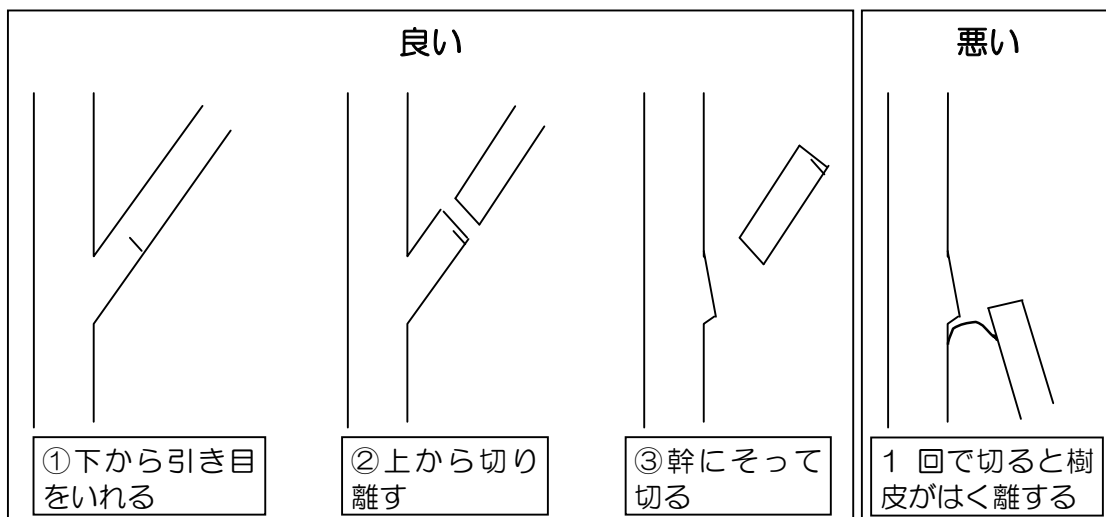
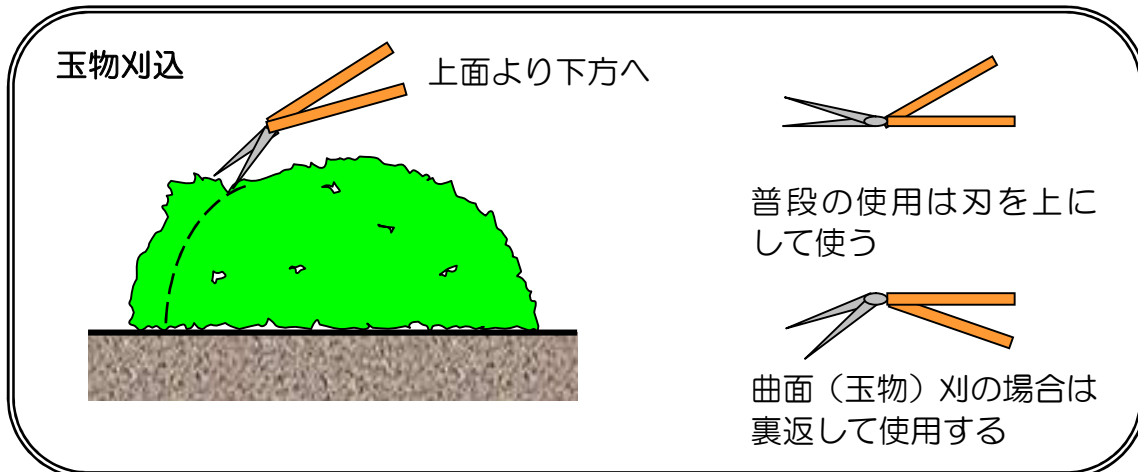


図3 枝下ろし剪定
(出典：「造園植物と施設の管理」)

4. 刈り込み

- (1) 生垣の刈り込みは、上のほうを強く、下を弱く刈り込みます。先に側面を刈り込み、次に上を刈り込むと失敗が少なくなります。
- (2) 針葉樹については萌芽力を損なわないよう、芽つみ等を行ってください。
- (3) 数年間刈り込みを行っていなかった低木を刈り込む場合には、一度に刈り込まず、数度に分けて刈り込みを行い、樹形を仕立てます。
- (4) 長年同じところを刈り込むと萌芽力が落ちる場合がありますので、時には深く切り戻すことも必要です。



5. 施 肥

(1) 施肥の目的

植栽後数年間は、根の養分吸収を助けるとともに、その発達を促すために施肥を行い、土壌中の養分を充分確保することが望めます。

また、活着した樹木でも花木や強度の剪定が繰り返される樹木や土壌量が不足している人工地盤上の樹木については、樹勢の回復維持を図るため、定期的な施肥が必要となります。

(2) 施肥の種類と施肥の時期

肥料は、施肥の時期、目的の違いから**寒肥**と**追肥**に分けられます。

	寒 肥	追 肥
時 期	・ 12月～2月	・ 6月下旬
種 類	・ 緩効性の有機質肥料 (油カス、鶏糞、骨粉等)	・ 速効性の化学肥料、無機質肥料 (硫安、過リン酸石灰、硫酸カリ等)

ア 具体的な肥料の選定に当たっては、生育状態や樹種によって検討してください。

イ 近年、効果が2～3年持続する緩効性化学肥料が開発されており、植栽時にこれを用いた場合は、使用后1～2年間は特に施肥の必要はありません。その後も緩効性化学肥料を用いることによって、施肥間隔を2～3年とすることが可能です。

ウ 肥料の基本的な種類は**窒素肥料**(枝葉の発育を促す)、**リン酸肥料**(開花や結実に不可欠)、**カリ肥料**(根の発育を促す)の3種ですが、多様

な肥料が市販されているので、仕様や効果をよく確認した上で用いるようにしてください。

(3) 施肥の方法

主な方法としては、リング式、放射式、ツボ式の3つの方式があります。

①高木、中木の施肥

原則として、寒肥は放射式またはツボ式とし、追肥はリング式としてください。

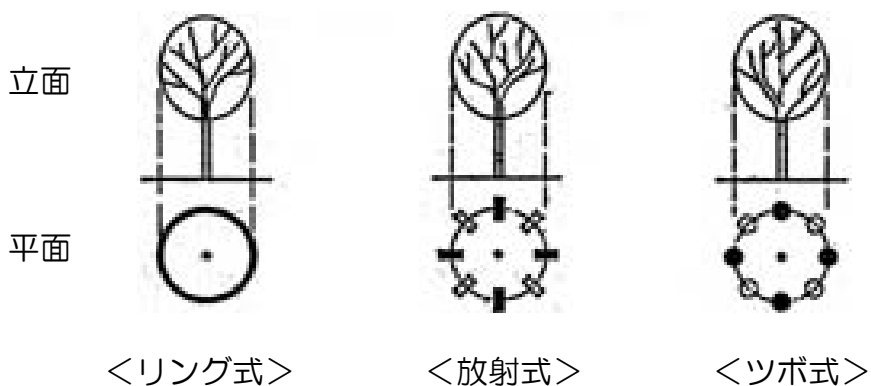
植柵や植樹帯では、柵等の内周に沿って幅15cm、深さ15cm程度を掘削し、施肥した後埋戻す方法で行ってください。

②低木の施肥

低木の寄植えはツボ式に準じ樹木間に深さ10cm程度の穴を掘削して行いますが、この方法による施肥が困難な場合は、散布する方法（バラマキ式）で行ってください。

■ 施肥の方法

方式	方 法
リング式	・根の先端（およそ樹冠の水平投影面の外周です）上に幅10～15cm、深さ20cm程度の円弧状の溝を掘削し施肥した後に埋め戻す方法
放射式 ツボ式	・下図の破線部と実線部を1年ごとに交互に繰り返し施肥する方法で掘削する深さ20cm程度としてください。



6. 病虫害防除

(1) 病虫害防除の目的

病虫害の発生は、樹木の健全な生育を妨げ、植栽としての機能低下をもたらすほか、人に不快感や虫刺され等の被害を与える恐れがあります。このため、病虫害の予防に努めるとともに、その発生を認めたら、速やかに防除することが必要です。

(2) 病害虫の予防

良好な生育環境のもとで健全に生育している樹木には、病害虫は発生しにくいものです。このため、土壌改良や施肥等を行い、植栽基盤を改善して、樹木に抵抗力をつけておく必要があります。また、剪定や除草等により通風を確保することも、病害虫の予防に効果があります。

(3) 病害虫防除実施の判断

定期的な巡回点検により早期発見に努め、被害が軽微な発生初期に速やかに防除することが重要です。また、病害虫の正確な判断と適切な対応処置を行うには、専門的な知識が必要となりますので、被害の状況によっては、区役所道路公園センターにご連絡ください。

(4) 病害虫防除の方法

害虫を一つ一つ補殺することや樹木の病害部を切除することは、作業効率は低いのですが発見と同時に即座に実施でき、周辺への影響が少ない方法です。また、薬剤を噴霧器等で散布する薬剤防除は、作業効率は高いのですが、周辺住民の方々や生物への影響が考えられますので、やむを得ず実施する場合には、薬剤の種類、濃度、毒性、適用植物、時期、時間、天候等を把握し、実施してください。(区役所道路公園センターで噴霧器を貸し出しております。)

■ 主な樹木に発生する病害虫

樹種	病害	害虫
ケヤキ	こうやく病、すす病、白星病等	カイガラムシ、アカアシノミゾウムシ、コシアブラムシ、アブラムシ、イラガ等
トウカエデ	うどんこ病、新抹首垂病等	ワタカイガラムシ、イラガ等
イチョウ	胴枯病等	カイガラムシ等
シラカシ	すす病等	アブラムシ等
エンジュ	炭そ病、斑点病等	アブラムシ、カイガラムシ、イラガ等
トチノキ	紅斑性がいしゅ病等	クリケムシ等
プラタナス	炭そ病、褐斑病等	アメリカシロヒトリ、イラガ、ツノロウムシ等
ニセアカシア	炭そ病等	アブラムシ、カイガラムシ、クワカミキリ等
サクラ	テングス病等	アメリカシロヒトリ、コブアブラムシ、イラガ、ウメケムシ、モンクロシャチホコ等

■ 主な害虫と薬剤

害虫	主な樹種
ハマキムシ	ボックスウッド、モチノキ、カナメモチ、シャリンバイ
アメリカシロヒトリ	プラタナス、アメリカフウ、サクラ
ケムシ類 モンクロシャチホコ	サクラ
ツゲノメイガ	ボックスウッド
イラガ	トウカエデ、ケヤキ、プラタナス、アメリカフウ、ナンキンハゼ
カイガラムシ	サザンカ、モチノキ
ミノムシ	クスノキ、ヤマモモ、アメリカフウ、プラタナス、メタセコイヤ、トウカエデ
グンバイ	ツツジ類、サツキ
アブラムシ	ウメ、サクラ、トベラ、モミジ
チャドクガ	ツバキ類、サザンカ、カンツバキ



7. 灌 水

(1) 灌水の目的

わが国では年間を通じて降雨量が多いので、土壤水分が不足することはあまりなく、活着後の樹木が土壤水分の不足で枯損することはほとんどありません。しかし、夏場の渇水時や土壤量の少ない人口地盤の植栽地、あるいは保水力に乏しい土壤から成る植栽地では、乾燥により枯損を生じる恐れがあります。また、植栽直後の樹木では、根の水分吸収力が弱いので、灌水により土壤水分を十分に確保することが必要です。

(2) 灌水の方法と時刻

灌水の方法は、人力灌水と施設灌水(スプリンクラー、ドリップ等)に分けられます。

灌水時刻は、夏場は日中をさけ、朝または、夕方に行い、冬場は日中に行ってください。



8. その他

(1) 支柱の補修、撤去等

樹木が活着し根が十分に発達し倒伏の恐れがなくなった場合、仮設的な支柱は不要であり、景観上好ましくないので早急に撤去することが望まれます。

樹木は、結束部分が緩んだり、幹の肥大に伴って結束部分が締め付けられたりして幹折れが生じる恐れがありますので、定期的な点検を行い、結束部分の調整や結束直しが必要となります。

(2) 枯損木等の撤去・補植

枯損木を放置すると、植栽地の景観を損ねますので、撤去するとともに必要に応じて補植等を行い、枝や幹の枯れ下がりに対しては、枯損部分を切除してください。

補植する場合は、枯損の原因を明らかにし、必要な対策を取ってから植栽することが必要です。

(3) 防犯上の対策

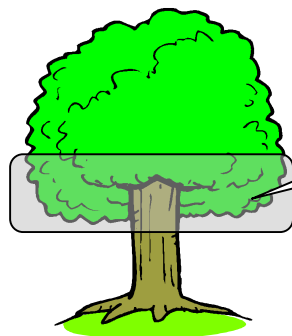
設置後十年以上経過した公園では樹木が成長し、公園内部や外部からの見通しの確保ができない場合があります。

その場合には、高木の下枝の剪定や低木の刈込を行い見通しの確保を行います。こうすることによって不審者が身を隠す場所を無くすることができます。

それでもまだ見通しが確保できない場合や、公園内部が暗いなどの場合には、樹木を間引くなどの措置を行います。

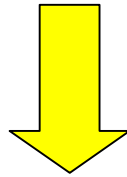
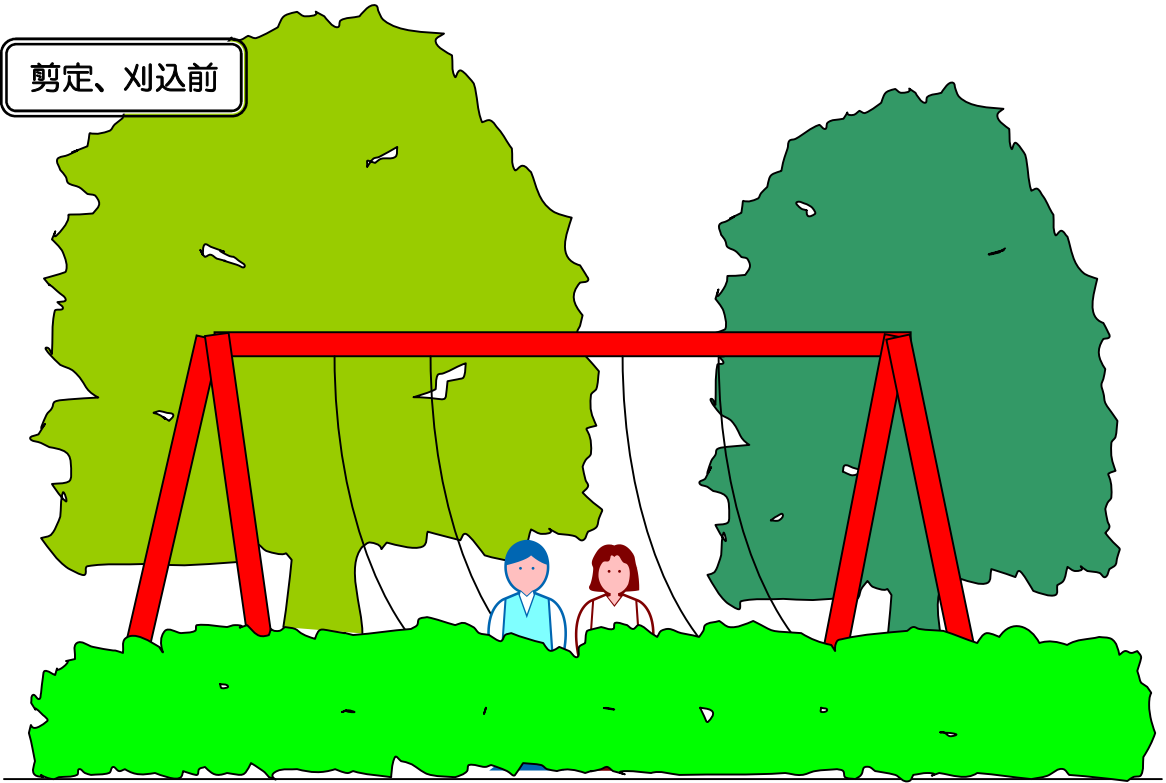
また、公園灯の設置や防犯意識啓発のための看板設置等につきましては、区役所道路公園センターにご相談ください。

下枝とは、樹木の地上面から一番近い太い枝のこと。



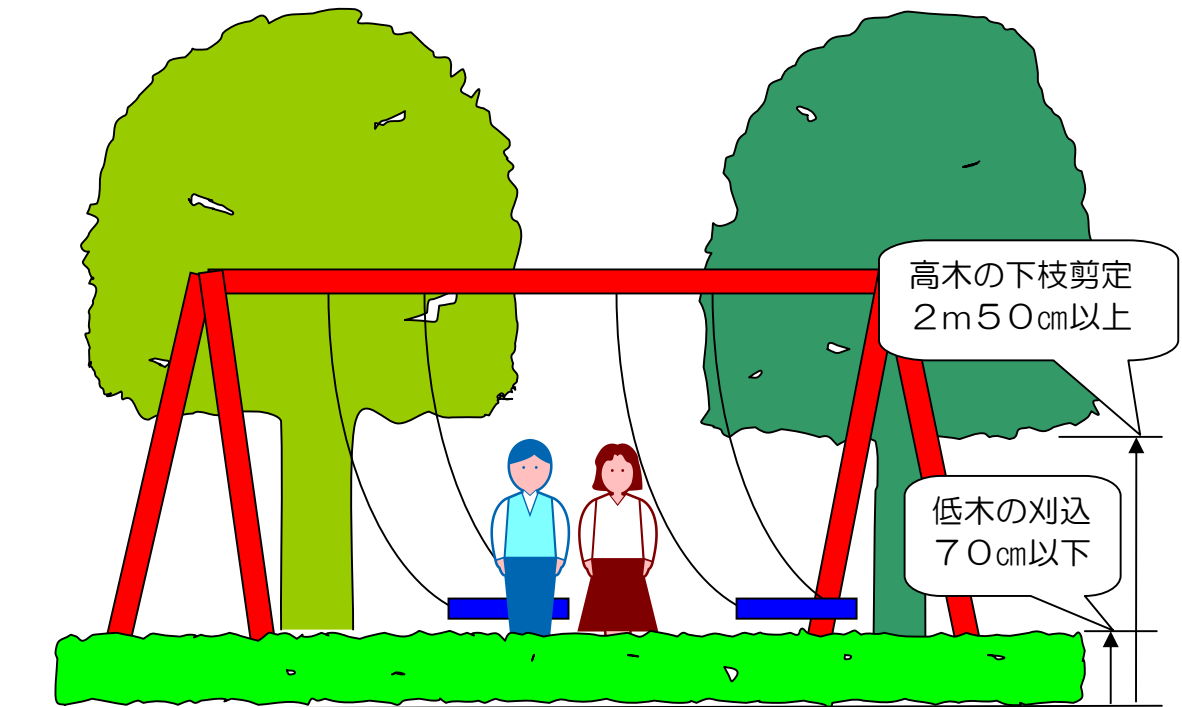
高木のこの部分を
下枝といいます。

剪定、刈込前



高木の下枝剪定、低木の刈込を行うことにより公園内の見通しが確保され、防犯性の高い公園づくりができます。

剪定、刈込後



■ 樹木の年間維持管理スケジュール

作業種別	作業時期及び回数												年間作業回数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
剪定(常緑)					●	●				●	●		1~2回
剪定(落葉)	●	●					●	●			●	●	1~2回
刈り込み				●	●	●	●	●	●	●	●	●	1~3回
施肥	●	●			●	●						●	1~2回
病害虫防除	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		適宜
除草・草刈		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		3回以上
灌水							●	●					適宜
支柱結束直し	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	適宜



Ⅱ 花壇づくり

花壇づくり～4つのステップ～

- (1) 場所を見つけよう
- (2) 仲間を集めよう
- (3) プランをつくろう
- (4) 汗を流そう

1. 場所を見つけよう

まずは、公園の中を散歩しながら花壇の候補地を探しましょう。設置するためのポイントは4つあります。

(1) 太陽

冬でも6時間位日照のある場所を探します。

(2) 土

もともと花壇が作られていたところがあれば最適です。今後の作業が楽に進められます。土が非常に固い場所や石などが多く出ているところは土づくりが非常に大変です。常に土が湿っているところは避けましょう。

(3) 水

花壇を設置する場所は公園の水道からホースなどを利用して散水できますか。植物を育てていく上で「水」は必要不可欠です。もし公園内に水道が無い場合は区役所道路公園センターにご相談ください。

(4) 利用しやすい

植え替えや散水などで頻繁に出入りするので、利用しやすい場所でないと続けられません。また、他の利用者の目に付くことも重要なポイントです。

2. 仲間を集めよう

作業をいっしょに行う仲間を集めましょう。共に楽しみ、汗を流す仲間をつくることで活動が楽しくなります。

(1) 口コミ

基本はメンバーによる口コミです。花壇に対する想いを直接相手に伝えることができます。

(2) チラシ（活動広報誌）の配布

活動内容を紹介するチラシを配布しましょう。今まで興味があったけど、活動内容や連絡先が分からなくて参加できなかった人もいるかもしれません。

- (3) マスコミ（タウン誌やケーブルテレビ、市の広報）等の利用
より多くの人に PR するにはマスコミを利用するのも一つの方法です。また、ホームページを作成すれば遠方に仲間ができて情報交換を行うこともできます。

3. プランをつくろう

(1) テーマの設定

花壇をデザインする前にまずテーマを決めます。色や季節等から連想されるもの、例えば「春」という言葉に関して思いつくことをあげてそこから考え方をまとめ、テーマを絞ります。また、テーマに合った花の形や色をイメージして設計図でバランスを取ることも大切です。

■ 花壇の分類

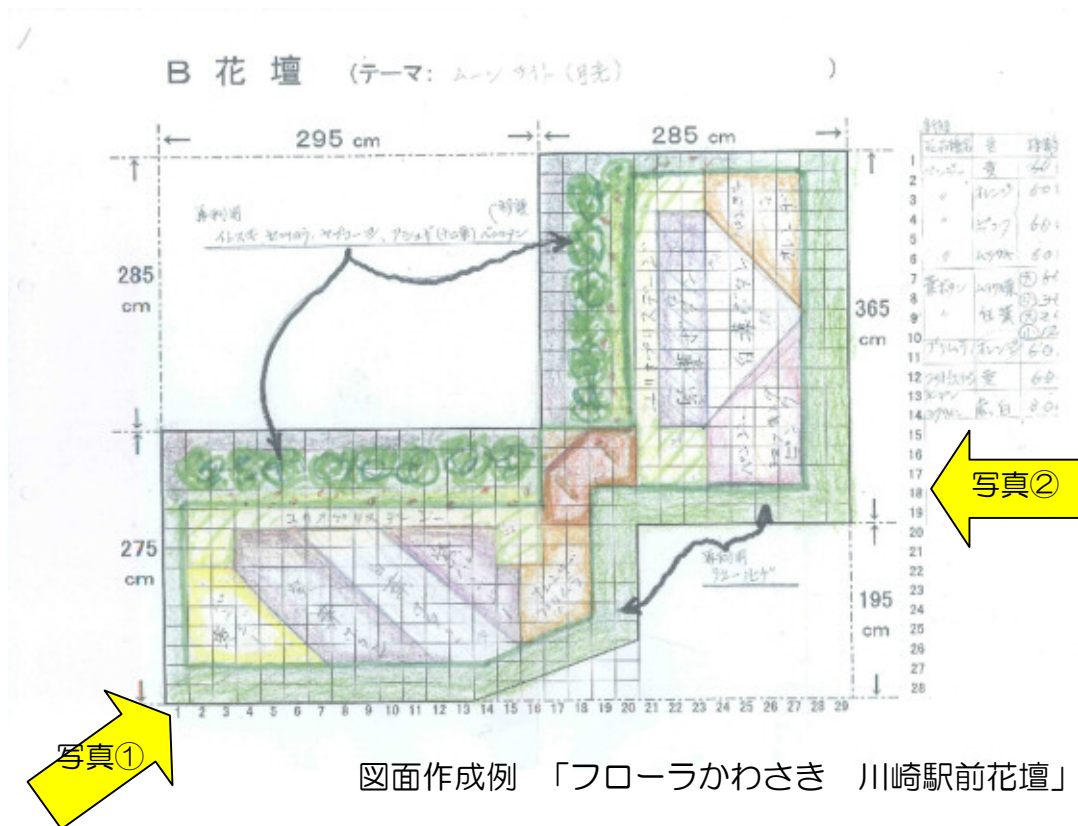
花壇のデザインは周囲の景観とマッチするよう心がけます。平坦で区割りが整然としている公園は毛氈(もうせん)花壇などの整形花壇を、自然を生かした公園ではロックガーデンなどの自然風花壇を整備します。

整形花壇	毛氈(もうせん)花壇	草丈の低い草花を用い、カーペット状の平面幾何学的模様を描いた花壇
	舗石花壇	レンガ、コンクリート平板などの舗装材の一部を抜き取り、そこに草花を植栽した花壇
	リボン花壇	通路・建物などに沿って草丈の低い草花を帯状に植栽した花壇
	寄せ植え花壇	周囲から観賞できるように中央部を高く、周辺にいくに従い丈の低い草花を組み合わせ植栽した花壇
	境栽花壇	建物、塀、通路に沿って細長く設ける花壇
	ボックス花壇	プランター、コンテナなどに草花を植えこんだもの
自然風花壇	ロックガーデン	自然の岩山の風情を出すように岩組みの要所要所に高山植物等の草花を植栽した花壇
	擁壁(ようへき)花壇	石垣、レンガ積みなどの隙間に草花を植栽したり、つる性植物を這わせた花壇

(2) 図面の作成

テーマが決まったら、今度はそれを図面にします。方眼紙などを使うと便利です。まず、花壇の外枠を書きそれに模様を入れていきます。さらにこれらの図面に色を入れ、花色が人に与える感じ（花壇の配色）がテーマと合っているかを確認します。

花壇をデザインする際、平面図上（視点は真上から）で表現することになりますが、実際の花壇（横から）は視点が違いますので注意しましょう。



写真①



写真②

ポイント!

- 単調さを防ぐため、草丈の違いのある草花を組み合わせたり、小面積の場合は縦の空間を生かし、レンガブロックなどを積み、花壇を二段、三段式にして立体的に見せるようにします。
- 広すぎると除草などの管理に追われてしまうので、管理の出来る適度な広さにしましょう。
- 小規模な花壇ではあまり多くの草花を用いず、シンプルなデザインを心がけます。

(3) 配色

花壇の美しさは、色彩によって表現されるので、色の組合せはきわめて重要です。同系色の組合せ、補色の組合せ、暖色系（赤・橙・黄）・寒色系（青・藍・紫）の組合せなどの基本的な配色があります。

- ・補色は反対色とも呼ばれ、特定の色を鮮明に浮かび上がらせる場合に有効的です。赤と緑、紫と黄色のような組合せを指します。
- ・暖色系は春花壇、寒色系は夏花壇向きです。
- ・葉の色も配色の対象です。緑以外に斑入り、銀白色、赤色等があります。

(4) 資金・資材の調達

花壇を作るのに必要な資金・資材の調達を考えましょう。

- ・行政の支援を受ける。（区役所道路公園センター、緑のボランティアセンター、区役所等に御相談ください。）
- ・各種団体・企業による支援を受ける（インターネットでの検索で見つけることができます）
- ・自前で調達する。（バザーやフリーマーケットを行う。腐葉土を公園内でつくる、花の苗を育てる。）

(5) 運営の仕組みづくりを考える

管理計画や作業日程、イベントの企画など、年間の活動計画をつくりましょう。役割分担（担当）を決めておくと活動がスムーズに進められます。

4. 汗を流そう

皆で力を合わせて花壇をつくりましょう。その花壇は地域の宝として守り、育てていきましょう。

土づくり

(1) 準備

花壇の設置に当たっては、障害になるものをあらかじめ撤去しましょう。がれきや空き缶を取り除き、雑草は根（地下茎）まで完全に抜き取る必要があります。

(2) 土壌の整備

障害物を撤去した後、土を耕します。耕す深さはスコップの深さ程度です。よく土をほぐし、塊をなくし、柔らかな土壌を整備します。

わが国では雨が多く土壌が酸性化しやすいので、消石灰などを散布し調整する必要があります。コンクリート片が多く出た場合は、アルカリ性を示す場合もあるので、石灰散布は慎重に行います。

植え込む10日以上前に、元肥となる緩行性化成肥料や乾燥鶏ふん等の有機質肥料、腐葉土等を全面に散布しよく混ぜ、なじませておきます。

落ち葉堆肥の作り方

材料：落ち葉（松や杉などの針葉樹、イチョウや竹の葉、常緑樹で葉が厚いものは避ける。）、鶏ふん又は牛ふんや米ぬかなど

方法：50 cmから1 m四方の囲いを作ります。その中に落ち葉を足で踏み固めながら20~25 cm積み、水をかけてよく湿らせ、鶏ふんや米ぬかを入れます。これを数回繰り返す、最後に土を3~4cm敷き均します。雨水が入らないように上にふたをします。定期的に切り返す（混ぜる）作業を行い、熟成期間（2週間~3ヶ月）を経て完成です。

花壇の縁取り

縁取りは、花壇周囲の土崩れ防止と花壇の輪郭をはっきりさせる為にレンガ、玉石、丸太等の公園の景観とマッチした材料により縁取りを行います。

ポイント！

小規模な花壇の場合、花壇に占める縁取りの割合が大きくなるため、そのデザインや施工により花壇の出来不出来が左右されるため十分注意してください。

草花選び

草花の特徴を十分把握して選びましょう。（開花の時期・期間、草丈、株の大きさ、花色、草姿等、表1から表4を参照してください。）

苗を選ぶときは、病害虫に侵されていないもの、間延びしていないしっかりとしたもの、つぼみが残っているものを選び、葉が黄色くなっているものは避けましょう。

植え付け時の注意

- 植え付ける際は、図面に描いたデザインを石灰やロープなどを用い実際に花壇に描き、苗を仮置きして全体のバランスなどを確認し、随時修正しましょう。
- 植えつけ間隔は草花の種類、草丈、草姿（株張りの大小）などで違ってきます。
- 植え付けは花の向きや高さを揃え、苗の地際が地面と同じになるようにし、深植えや浅植えにならない様に注意しましょう。

- 植え付ける際は、ビニールポットを逆さまにして苗を取り出し、根鉢を1／3程度崩します。
- 植付け後、十分に灌水を行います。

〃 = = = = = 〃
 〃 **ポイント!** 〃
 〃 開花時期の短い草花を用いるときはコンテナや鉢のまま植え付けると 〃
 〃 植え替えの手間が省力化できます。 〃
 〃 = = = = = 〃

維持管理

花壇の維持管理は灌水、花殻摘み、除草・清掃、補植、病害虫防除等を次のように適宜行います。

- (1) 灌水
灌水を行う場合は、なるべく午前中に行い、花にかからないようにしましょう。
- (2) 花殻摘み
病害虫の予防のためにも、花殻や枯葉はこまめに取り除きましょう。花殻を取り除き、結実をさせないことにより花付きがよくなります。
- (3) 除草・清掃
(除草・清掃につきましては、維持管理編P 1を参照してください。)
- (4) 補植
夏季の渇水や病害虫により枯れが生じた場合は、必要に応じて補植を行ってください。
- (5) 病害虫防除
(病虫害防除につきましては維持管理編P 8を参照してください。)

植栽直後にカラスに苗を引き抜かれたり、ハボタン等を植栽した際、ハトによる食害を受けたりすることがあります。対策として、割り箸を花壇に突き立て、釣り糸等を張り巡らせる方法があります。

表1 主要春播き一年草

種類名	科名	播種期	開花期	草丈(cm)	植栽間隔 (cm)	花色
アゲラータム	きく	3~4	6~11	20~30	20	青、白、ピンク
インパチェンス	つりふねそう	3~4	6~11	20~50	20	赤、白、ピンク
オシロイバナ	おしろいばな	3~4	6~11	60~90	30	紅、黄、白
オジギソウ	まめ	3~4	8~9	20~30	20	ピンク
ケイトウ	ひゆ	春	6~9	30~60	20	赤、黄
コスモス	きく	春	6~11	50~90	30	ピンク、白
コリウス	しそ	春	5~10	30~60	30	葉色(赤、黄)
サルビア	しそ	春	6~11	30~60	20~30	赤、紫、白
ヒャクニチソウ	きく	春	6~10	20~60	20~30	黄、オレンジ、ピンク、白
タチアオイ	あおい	春	7~8	200	50	赤、ピンク、白、黄
トレニア	ごまのはぐさ	4~5	7~10	15~30	20	紫、白
キンレンカ	のうぜんはれん	3~4	5~9	15~20	20~30 (半つる性)	黄、橙、赤
ニチニチソウ	きょうちくとう	4	7~9	20~50	20	ピンク、白
ヒマワリ	きく	4	8~9	30~120	50	黄
パチュニア	なす	1~9	5~11	15~20	20	ピンク、白、赤、紫
ホウセンカ	つりふねそう	3~5	6~8	20~50	30	ピンク、赤、白、紫
マツバボタン	すべりひゆ	3~4	5~8	10~15	10~15	赤、ピンク、黄、白
マリーゴールド	きく	3~6	4~11	15~50	15~20	黄、橙、赤と黄



表2 主要秋播き一年草

種類名	科名	播種期	開花期	草丈(cm)	植栽間隔(cm)	花色
アスター	きく	秋	6~9	20~80	15~20	赤、白、ピンク
カスミソウ	なでしこ	秋	5~6	30~50	25~30	青、白、ピンク
カリフォルニアポピー (ハナビシソウ)	けし	秋	5~6	20~30	20	黄、オレンジ
キンギョソウ	ごまのはぐさ	秋	5~9	15~60	15~20	赤、ピンク、黄、白
キンセンカ	きく	秋	4~8	15~20	15	黄
スイートアリッサム	あぶらな	秋	4~7	10	15	白、淡紫、ピンク
スイートピー	まめ	秋	5~7	つる性	20	白、ピンク、淡オレンジ、赤
ストック	あぶらな	秋	4~6	30~60	20	白、ピンク、青
ナデシコ	なでしこ	秋	5~6	15~20	15	赤、白
ハボタン	あぶらな	8~9	11~2	30	30	ピンク、白
パンジー	すみれ	8~10	3~6	15~20	20	紫、黄、白、赤
ヒナギク	きく	8~10	3~6	10	15	赤、ピンク、白
ヒナゲシ	けし	9~10	5~6	60	20	赤、白
ヒメキンギョソウ	ごまのはぐさ	9~10	4~8	30	20	ピンク、赤紫、黄
フロックス	はなしのぶ	10	5~7	20~40	15	ピンク、白、赤
ムラサキハナナ	あぶらな	秋	4~5	30~60	20	紫
ヤグルマソウ	きく	8~10	2~5	20~80	15~30	青、ピンク、白
ルピナス	まめ	9~10	4~5	60~90	20~30	青、ピンク、赤、黄
ロベリア	ききょう	8~10	4~7	15	15	青、白、紫
ワスレナグサ	むらさき	9~10	4~5	10~50	20	青

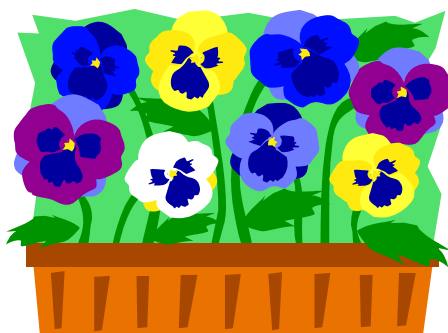
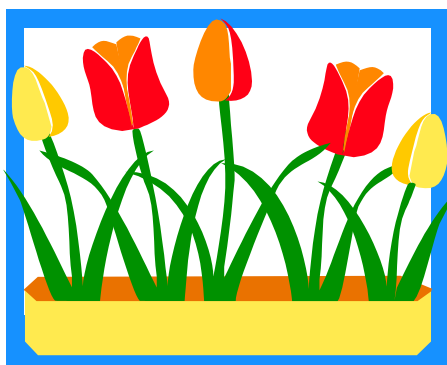


表3 主要宿根草

種類名	科名	定植期	開花期	草丈(cm)	植栽間隔 (cm)	花色
アガパンサス	ゆり	春	7~8	60	30	青、白
アサギリソウ	きく	春、秋	10	30	根茎でひろがる	黄
アスチルベ	ゆきのした	春、秋	5~6	30~90	30	赤、ピンク、白
アルメリア(ハマカンザシ)	いそまつ	春、秋	4~5	15~30	15	ピンク
オオキンケイギク	きく	春、秋	5~6	60	20	黄
ガーベラ	きく		5~11	40~50	30	赤、黄、白、橙
カクトラノオ(ハナトラノオ)	しそ	春	7~8	60~80	根茎でひろがる	ピンク
カンゾウ	ゆり	春、秋	5~6	30~60		オレンジ、赤、黄
キク	きく	5~6	10~11	30~50	30	黄、白
キキョウ	ききょう	春、秋	6~9	20~60	20	青、白、桃
キショウブ	あやめ	秋	5~6	60~90	30	黄
ギボウシ	ゆり	春、秋	6~8	30~40	20	青、白
クサキョウチクトウ(フロックス)	はなしのぶ	春、秋	7~8	60~80	30	ピンク、青、白など
シャクヤク	きんぼうげ	秋	5	60~90	30	ピンク、白
シャスターデージー	きく	春、秋	5~6	50~60	30	白
ジャーマンアイリス	あやめ	初夏	5~7	30~80	30	青、白、黄
シラン	らん	春	5~6	30		赤紫、白
シロタエギク	きく	春	5~10	30~40	30	灰白
スズラン	ゆり	秋	5~6	20~25	10	白
ナデシコ	なでしこ	春、秋	5~6	30~60	20	ピンク、白
ノコギリソウ(アキレア)	きく	春、秋	6~10	50~60	30	ピンク、白、黄
ハマギク	きく	春、秋	10	30	30	白
パンパスグラス	いね	春	9~11	200	100	白
ビジョザクラ(バーベナ)	くまつづら	春	5~11	15~30	30	赤、ピンク、白、紫
フウチソウ	いね	春、秋		30	30	
フクジュソウ	きんぼうげ	秋	3~4	25~30	30	黄
プリムラポリアンサ	さくらそう	秋	4~5	20	20	青、黄、白、ピンク
マーガレット	きく	秋	1~6	100	50	白
マツバキク	つるな		5~6	30	15	紫紅、ピンク、白、橙
ミヤコワスレ	きく	春、秋	6~7	30	根茎でふえる	青、ピンク、白
シバザクラ	はなしのぶ	春、秋	4~5	10~15	30	ピンク、紫青、白
ルドベキヤ	きく	春、秋	7~8	120	20	黄

表4 主要球根類

種類名	科名	播種期	開花期	草丈(cm)	植栽間隔 (cm)	花色
アネモネ	きんぽうげ	秋	4~5	20~30	20	赤、紫、白、ピンク
アマリリス	ひがんばん	春	5~7	50~70	20	赤、白、ピンク、オレンジ
カラー	さといも	春、秋	5	60	30	白
カンナ	かな	春	5~11	60~150	30~50	赤、オレンジ、黄、白
グラジオラス	あやめ	春	5~7	60	20	赤、ピンク、白、黄、紫など
クロッカス	あやめ	秋	3~4	10	5	紫、黄、白
スイセン	ひがんばん	秋	3~4	20~40	20	白、黄
タマスダレ	ひがんばん	秋	7~10	20~30	10	白
ダリア	きく	春	5~11	30~150	20~50	赤、ピンク、白、黄、紫
チューリップ	ゆり	秋	4~5	20~50	15~20	赤、ピンク、黄、白
ハナニラ	ゆり	秋	3~4	15~20	10	白~薄藤青色
ヒガンバナ	ひがんばん	春	9~10	30	15	赤
ヒヤシンス	ゆり	秋	3~4	20	15	紫、ピンク、白
ムスカリ	ゆり	秋	4	20	5	紫
ユリ類 オニユリ	ゆり	秋	8~9	100	20	赤
// カノコユリ	ゆり	秋	7~8	100	30	ピンク
// ヤマユリ	ゆり	秋	6~8	90	30	白、黄点
// テッポウユリ	ユリ	秋	6	30~90	20	白
ラナンキュラス	きんぽうげ	秋	5	20~30	20	赤、ピンク、黄
リコリス	ひがんばん	8	9~10	30~60	20	白、黄、紫



***各区役所道路公園センター（平成22年4月現在）**

川崎区役所	川崎区大島1-25-10	TEL 244-3206	FAX 246-4909
幸区役所	幸区下平間357-3	TEL 544-5500	FAX 556-1650
中原区役所	中原区下小田中2-9-1	TEL 788-2311	FAX 788-1106
高津区役所	高津区溝口5-15-7	TEL 833-1221	FAX 833-2498
宮前区役所	宮前区有馬2-6-4	TEL 877-1661	FAX 877-9429
多摩区役所	多摩区菅北浦4-11-20	TEL 946-0044	FAX 946-0105
麻生区役所	麻生区古沢120	TEL 954-0505	FAX 954-6283

本書に記載してある内容は公園緑地の維持管理について一般的な内容のご紹介をしています。この内容全てを管理運営協議会、公園緑地愛護会の皆様にやっただくわけではありません。

本書を今後の管理運営協議会や公園緑地愛護会の活動の参考とし、また、公園緑地以外の地域の緑やご家庭の植栽の維持管理の際、ご参考としていただければ幸いです。

公園緑地の維持管理

平成22年4月 策定

発行 川崎市
編集 建設緑政局

〒210-8577
川崎市建設緑政局みどりの協働推進課

TEL 044 (200) 2365